

各位

2024年5月31日

サイバネットMBSE株式会社

## サイバネットMBSE製品の新バージョンリリースのお知らせ

サイバネットMBSE株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：荒木 克文、以下「サイバネットMBSE」）は、自社開発製品であるMapleMBSEの新バージョン（2024.0）を2024年4月にリリースしたことをお知らせします。

### ◆ スプレッドシートによるMBSEプラットフォーム「MapleMBSE」

MBSE(Model-Based Systems Engineering ※1)は元々米国の航空・宇宙など極めて複雑でかつ大規模なシステム開発を効率よく開発するために生み出された開発手法であり、SysML※2という言語を用いたモデルを使用します。SysMLモデルにより、システムの要求分析から始まり、性能や機能設計、詳細設計などを関連づけて行えるだけでなく、設計した仕様に対する検証から製品化の後工程となる保守・運用に至るまでを、統一的に管理することが可能となります。

このようにMBSEの適用には、SysMLモデルの作成・維持・活用が必要不可欠となっておりますが、これは同時に最も困難な点でもあります。

MapleMBSEはスプレッドシート（Microsoft社 Excel）上でSysMLモデルを作成・活用できるMBSEプラットフォームであり、MBSE導入に関わる課題を以下の通り解決し、複雑で大規模なシステム開発を成功に導きます。

- (1)Excelで使えるためモデル活用人口が増える
- (2)複雑なモデルであっても本質が掴める
- (3)業務プロセスに落とし込んでMBSEが実運用に乗る

最新バージョンであるMapleMBSE 2024.0では、SysMLモデルデータとExcelスプレッドシート間のデータ連携を定義するのに必要な「Configファイル」※3を自動生成する機能を強化しました。以前のバージョンでは自動生成できるConfigファイルが3種類だけでしたが、最新バージョンでは、リレーションマトリックス、インスタンスマトリックス、FMEAなどを含む15種類のテンプレートを自動生成することができるようになりました。これにより「Configファイル」作成に要する工数を大幅に削減できます。

また、モデル要素間の依存関係をマトリックス形式で表現する「リレーションマトリックス」に関しては、従来列には一種類の要素しか表示できなかったのが、異なる種類のモデル要素が表示できるようになった他、「複数リレーション表示」機能と「異なる要素表示」機能を組み合わせて、種類毎に別リレーションを表示することが出来るようになりました。

さらに、使い易さの向上のため、他のExcelから複数行をコピーしてMapleMBSEの表に既存のデータを上書きする形でペーストすることが出来るようになった他、データをサーバに書き込むコミット処理の結果確認ダイアログの表示を任意に設定出来るようになりました。

MapleMBSEはサイバネットMBSEが開発したオリジナル製品であり、国内自動車メーカー様、MBSEの先進ユーザー様にご採用頂いております。

詳細やデモ・評価版のご依頼は弊社ホームページ (<https://www.cybernetmbse.co.jp/>) の製品紹介、問い合わせページ、または本件に関するお問い合わせ先よりご連絡ください。

---

## ◆ サイバネットMBSEが提供するMBSEソリューションの特長

---

サイバネットMBSEではサービスとソフトウェアの二本柱でお客様の設計開発業務を支援してまいります。お客様の開発プロセスに適した記述モデルの構築、計算モデルとの連携の仕組み、実務展開のためのツール導入およびSIサービスを提供します。

サービスでは、「サイバネットメソッド」と呼ばれる独自のメソドロジーを使って、実際の課題を、SysMLモデルを使って解決していくためのコンサルティングサービスを提供しています。

ソフトウェア販売では、自社開発ソフトウェアである「MapleMBSE」「MapleDOE」、及びダッソー・システム社の国内正規代理店としてSysMLモデリングツール「[CATIA Magic](#)」「No Magic」を取り扱っております。

---

### 【注釈】

※1：要求、ふるまい、構造等を記述したモデルデータを使って、複雑なシステムをライフサイクルにわたって設計、統合、管理するシステムズ・エンジニアリング手法

※2：システムズ・エンジニアリングでシステムの設計、分析、検証等でもちいられるモデリング言語のひとつ。統一的なモデリング言語といわれているUMLのサブセットを拡張している。

※3：SysMLモデルとExcelスプレッドシート間のデータの対応付けをどのように行うかを記述したファイル。これにより、意図した書式でSysMLモデルデータ内にあるデータをExcel上に表示することができる

---

### ダッソー・システムズについて

ダッソー・システムズは3DEXPERIENCEカンパニーとして、人々の進歩を促す役割を担います。当社は持続可能なイノベーションの実現に向けて、企業や人々が利用する3Dのバーチャル コラボレーション環境を提供しています。当社のお客様は、3DEXPERIENCEプラットフォームとアプリケーションを使って現実世界のバーチャル ツイン エクスペリエンスを生み出し、さらなるイノベーション、学び、生産活動を追求しています。ダッソー・システムズ・グループは140カ国以上、あらゆる規模、業種の29万社以上のお客様に価値を提供します。より詳細な情報は、<http://www.3ds.com>（英語）、<http://www.3ds.com/ja>（日本語）をご参照ください。

# NEWS RELEASE

**CYBERNET**

3DEXPERIENCE、Compass アイコン、3DS ロゴ、CATIA、BIOVIA、GEOVIA、SOLIDWORKS、3DVIA、ENOVIA、NETVIBES、MEDIDATA、CENTRIC PLM、3DEXCITE、SIMULIA、DELMIA および IFWE は、アメリカ合衆国、またはその他の国における、ダッソー・システムズ（ヴェルサイユ商業登記所に登記番号 B 322 306 440 で登録された、フランスにおける欧州会社）またはその子会社の登録商標または商標です。

サイバネットMBSEについて

サイバネットMBSE株式会社に関する詳しい情報については、<https://www.cybernetmbse.co.jp/> をご参照ください。

-----  
本件に関するお問い合わせ先：サイバネットMBSE株式会社  
-----

■ 内容について

営業管理部/清水

E-MAIL : [info@cybernetmbse.co.jp](mailto:info@cybernetmbse.co.jp)  
-----